

会津産業ネットワークフォーラム（ANF）
令和6年度事業報告（総括）

令和7年3月末現在の正会員企業87社、賛助会員7社で、会津地域17市町村を中心に活動が続け、会員企業が立地する各自治体（12市町村）及び7教育・研究機関（会津大学、ポリテクセンター会津、テクノアカデミー会津、会津北嶺高校、会津工業高校、喜多方桐桜高校、福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター）にも特別会員として連携支援をいただいております。

また、会津若松商工会議所等、会津地域の団体はもとより、東経連ビジネスセンター、郡山地域テクノポリス推進機構等、県内外の関係機関・団体とも引き続き、連携体制を構築してまいりました。

令和6年度の事業計画に対し、実施した具体的な取り組みの概要は次の通りです。

1. 会議の開催

「幹事会」と「運営会議」を合同で3回開催し、事業運営の審議を行いました。また事務局会議を3回開催し、主に幹事会への提案内容等の協議を行いました。

2. 企業間交流連携・販路拡大

- 1) 企業プレゼン会の1回目では、会員の会津パッケージ様、2回目は、マツモトプレシジョン様で工場見学と併せて会員各社の取組を知っていただくべくプレゼンいただきました。更には、予定にプラスし、3回目をセイコーエプソン様の地域企業との共創の取り組みなど知っていただきたいと考え、ヒューマンハブ天寧寺を会場に開催しました。
- 2) 販路拡大プロジェクトでは、昨年に引き続き、機械要素技術展や彩の国ビジネスアリーナだけではなく、新たに諏訪圏工業メッセへの共同出展も行うなど、販路開拓を推進してまいりました。
- 3) 東北大学名誉教授の堀切川一男氏による御用聞き訪問を5月と11月に実施し、会員企業を延べ9社訪問し新商品開発のキッカケとなる提案や技術相談などに対する支援を受けました。
- 4) 経営者会は、秋と冬の2回開催し、秋はアントレプレナーシップ（起業家精神）を専門とする早稲田大学の長谷川教授に講演いただき、冬は人材不足対策として、国の施策から外国人採用の現場に至る講演、事例発表を行わせていただき

ました。講演後には交流会を開催し、会員企業同士、講演者との懇親を図りました。

- 5) 産学官連携での取組としては、会津工業高校からの要望を受け、会員企業の協力をいただきながらの「PTA 工場見学バスツアー」、初の試みとしての「ビジネスマナー講習会」を実施し、高校生と企業の方が接する機会を作ることができました。関連は不明ですが、令和6年度同校の卒業予定者の地元就職率が一定上がったしたとの報告も得ています。

また、郡山テクノポリス推進機構が実施している「広域連携地域産業ネットワーク構築事業」においては、会津地域の企業と他地域の企業のマッチング事業に取り組み、お互いの地域企業を、より知れる機会にもなりました。

会員企業のマッチング要望に対し、保有する技術・ノウハウを活用した商品開発の為、相手企業とつながりがある市町村役場の協力を得たりしながら連携を図る事もできました。

3. 大学及び関係機関との連携

中堅社員の集いでは、昨年度に引き続き、9月にSAP ジャパン様のご協力の元、「デザインシンキングを体験し学べるワークショップ」を開催しました。

また、ANFによる初のQC検定試験会津受検においては、会津若松商工会議所様や会員企業に協力いただき実現しました。

4. 人材育成

産業人材の育成として欠かすことができない研修として、新入社員研修・旋盤講習・フライス盤講習・QC検定講習会、保全技能教育・危険体感教育・部下育成セミナーなどを開催しました。また、ポリテクセンター福島の委託事業の生産性向上支援訓練は、製造業に不可欠なムダの排除及び工程改善、QC7つ道具活用セミナー、安全衛生に関するセミナーを開催しました。

また、令和7年度から新事業として、次世代経営層及び幹部層に向けた育成研修「次世代経営幹部エッセンシャルズ」を実施するにあたり、AiCTコンソーシアムのアクセンチュア様、SAP ジャパン様と連携し、企画を作成しました。

5. 会員の拡大・周知

令和6年3月末現在の会員数は、正会員85社、賛助会員5社、特別会員19機関(12自治体含む)でした。令和6年度は、正会員が4社入会、2社退会し、賛助会員が3社入会、1社退会により、令和7年3月末現在の会員数は正会員87社、賛助会員7社、特別会員19機関(12自治体含む)となっております。

以上